

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

長崎県

（地域における現状・課題）

中学校部活動における休日の段階的な地域移行については、将来的な少子化に係る課題と、教職員の働き方改革をふまえて理解しており、各市町に適した以降の方法と持続可能なスポーツ環境の構築を模索している状況。

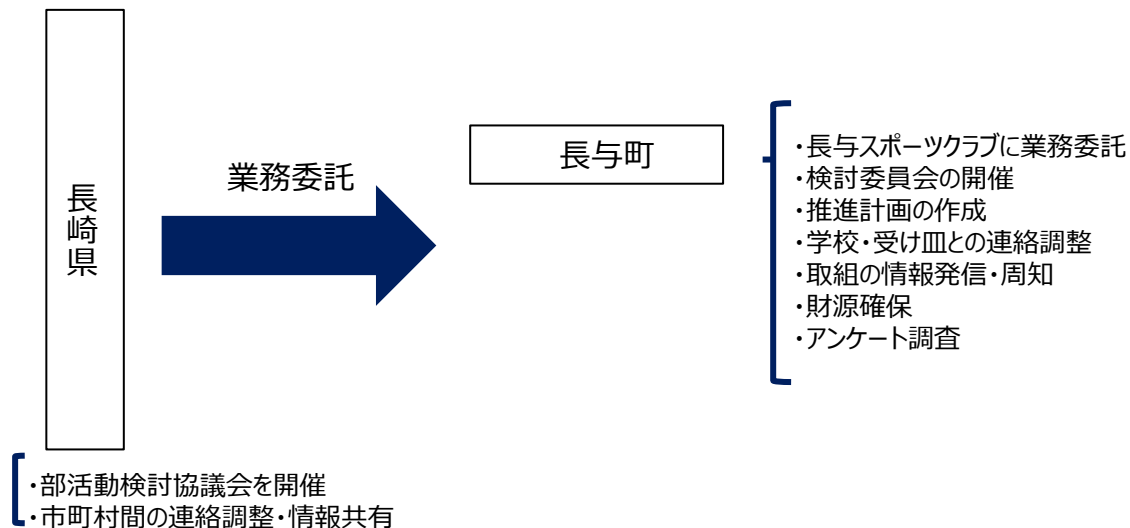
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・①地域部活動実践研究事業（本事業）、②部活動指導員配置事業、③部活動指導者研修会、④部活動検討委員会（本事業）の取組み。
- ・長与町教育委員会を研究推進地域（再委託：町村部）、既存の団体である「長与スポーツクラブ」を研究推進団体（再々委託）とし、長与町内3つの中学校における部活動の地域移行を実践。
- ・「長崎県部活動の在り方検討委員会」での継続した検討。
- ・県内にある21市町を訪問し、部活動改革の説明と進捗状況の確認を図り、地域移行への準備を促進。

（実践研究の成果）

- ・長与町での研究においては、部活動を地域に移行する一つのモデルとして県内に周知することができ、各市町の課題への取組みの一助となった。
- ・「長崎県部活動の在り方検討委員会」では、関係各団体からの意見を聴取、共有することができ、今後の県全体の部活動の在り方についての方針を協議できた。
- ・県内にある21市町を訪問では、部活動地域移行の説明と進捗状況の確認を図り、各地域の実情に応じた地域移行へのモデルについて意見交換ができた。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

長与町

（地域における現状・課題）

長与町では、令和5年度から休日の長与町立中学校の運動部活動すべてを学校から地域へ移行することを目指して準備している。令和3年度の本研究事業において、卓球部（個人）の地域移行を進めてきており、令和4年度においては、バスケットボール（チーム）の地域移行について研究事業を実施する。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：NPO法人総合型SC長与スポーツクラブ
活動場所：長与町内の中学校体育館
指導者：地域の指導者4名、教職員（兼職兼業）3名
移動手段：徒歩、保護者送迎

責任主体：長与町教育委員会／NPO法人総合型SC長与スポーツクラブ
活動種目：バスケットボール
会費等：3,000円／月
保険：800円／年（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- ・バスケットボールにおいて、すべての中学校から男子28名、女子32名、計60名が参加した。
- ・満足度調査において、生徒100%、保護者90%、教職員90%、管理職71%が満足していると回答した。
- ・顧問の教職員は、特に満足度が高く、本来業務への負担がとても軽減しており、部活動に係る練習試合の設定、部費などの会計管理、休日の技術的指導、保護者との連絡調整に係る負担が軽減したとの成果を得た。
- ・バレーボール男子が8月、バレーボール女子が12月、バドミントン男女が2月に休日の部活動への地域移行が年度内に完了した。

（運営体制図）

